

地域福祉推進 第9次5か年計画

令和6年度～令和10年度

誰もが安心して暮らし続けられる
みんなでつくる支え合いのまち「ひろしま」

社会福祉法人広島市社会福祉協議会

はじめに

日本は少子高齢化が進むとともに、人口減少社会となっています。また、令和7年（2025年）には団塊の世代が後期高齢者となり、国民の5人に1人が後期高齢者になると予測されています。このような社会情勢は地域社会や社会経済に多大な影響を与え、いわゆる老々介護やヤングケアラー、孤立死、ひきこもりなどの地域生活課題が顕在化してきています。

また、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の流行では、全国的な移動や不要不急の外出の制限、3密（密閉・密集・密接）の回避、日常的なマスク着用など、国全体で新たな生活様式への移行を余儀なくされ、日常生活に多大な影響が及びました。

特に、地域住民が集まるサロン活動や訪問による見守り活動など、これまで行ってきた対面による福祉活動が行えない状態が続いた結果、地域での交流活動の停滞や孤独・孤立に関する課題が顕著となりました。その反面、パソコンやタブレットなどを活用し、オンライン上での会合の普及が進んでいます。

令和3年8月には西区と安佐南区で豪雨災害が発生し、コロナ禍での被災者支援活動となりましたが、地域での助け合いによる復旧活動の支援を行いました。

令和4年4月1日には、広島市社会福祉協議会と各区社会福祉協議会の法人合併を行い、法人関係業務を集約化・効率化することにより、これまで以上に地区社会福祉協議会の支援等に注力できる体制を整えました。

このような状況を踏まえ、広島市社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らし続ける みんなでつくる支えあいのまち『ひろしま』」を基本理念とする、地域福祉推進第9次5か年計画を策定しました。

社会情勢が目まぐるしく変わる現代ではありますが、引き続き住民主体の地域社会づくりを目指し、地区社会福祉協議会、町内会・自治会、民生委員児童委員協議会等の地域団体、関係機関、市民活動団体、社会福祉法人、行政機関などの参加と協力を得ながら、各種取組を進めていきたいと考えておりますので、引き続き皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました策定委員会委員をはじめ、広島市及び関係機関・団体の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

令和6年（2024年）3月

社会福祉法人広島市社会福祉協議会

会長 永 野 正 雄

目 次

第1章 計画策定の趣旨

1 計画策定の背景と趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画期間	2
4 広島市地域共生社会実現計画との関係	3

第2章 広島市における地域の状況

1 人口・世帯数の推移	4
2 合計特殊出生率・出生数の推移	5
3 高齢者人口・高齢化率の推移	6
4 認知症高齢者数・認知症高齢者の出現率の推移	6
5 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移	7
6 町内会・自治会の加入世帯数・加入率の推移	7

第3章 計画の基本概要

1 基本理念	12
2 基本目標	12
3 取組体系	14
4 取組項目	18

第4章 区社協活動計画

1 区社協活動計画の位置づけ	33
2 区社協共通項目	34
3 各区社協取組項目	35

第5章 計画の推進と評価

1 計画の推進体制	51
2 進行管理・評価	51

資 料 編

1 用語説明	52
2 第8次計画の総括・評価	54
3 アンケート結果概要（地区社協現況調査、市民意識調査）	58
4 各種委員会名簿	64
5 計画の策定経過	67